



関西大学高等部  
松村 湖生 教諭

関西大学  
高等部

## グローバルリーダー育成のために

～企業・団体とのディスカッションを通じてSDGsを考える～



### グローバルな視点を育てる 「関大SDGsフォーラム」の実施

本校のプロジェクト学習では、生徒が興味や関心のある分野から課題を見つけ、フィールドワークや中間発表会を経て、個人論文にまとめるまで行います。1年生は身近なところに課題を設定するのに対して、2年生はグローバルな視点で社会課題を発見し、SDGsに関する日本の企業や諸団体の活動を知ることが目的として高等部主催の「関大SDGsフォーラム」に参加。SDGsの17の目標から関心のある分科会へ出席し、その分野で活動している企業や団体(2017年度より3年間で30団体以上)に、生徒主体で話を聞き、ディスカッションを行っています。生徒は様々な視点から各企業や団体の活動を知り、SDGsについての知見を広げることで、1年時よりグローバルな視点で、探究活動を行うことができるようになりました。

### 男女共同参画に関する生徒の研究

SDGsフォーラムで「働きがいも経済成長も」の分科会に参加した生徒は、企業とのディスカッションの中で女性管理職の割合が少ないことを知り、疑問を持つことに。そこで『女性管理職を増やすにはどのような施策が効果的か』をテーマに設定。女性管理職が少ない原因を調べ、女性と男性の昇進意欲の差などを考察しながら、社員への女性活躍推進施策などの周知徹底とその具体策を提案しました。

「平和と公正をすべての人に」の分科会に参加した生徒は『LGBTQ当事者が過ごしやすい日本へ』や『シングルファ

ザーの現状』について、また「ジェンダー平等を実現しよう」の分科会に参加した生徒は『育児休暇と女性』、『女性の社会的地位の歴史的変遷』に関してなど、男女共同参画に関するテーマで活動(2019年度)。SDGsフォーラムをきっかけに興味や関心を持ち、個人のテーマを設定する生徒もいました。

### SDGs目標達成のために

プロジェクト学習では、生徒は仮のテーマを設定した後、書籍やインターネットでの調査を行い、新たな問いを見つけ出します。この新たな問いについて、先行研究調査、フィールドワーク等を行い、より深い問いを見つけ出し、大学教員の専門的な指導のもと論文を執筆します。研究テーマが直接SDGsの目標に関連するものもありますが、そうでないテーマであっても、このような学習過程で成長した生徒たちが、将来グローバルリーダーとして、SDGsの目標達成のために活躍することを期待し、本校ではプロジェクト学習を継続していきます。

関西大学高等部 研究開発部  
松村 湖生 教諭

2009年に関西大学高槻ミュージックキャンパスの開設準備委員として赴任。2017年にSGH推進部主任に赴任し「関大SDGsフォーラム」を実施。2019年より研究開発部主任として中等部の考える科・総合的な学習の時間、高等部のプロジェクト学習の主担。